

	2011年3月	2011年4月	2011年5月	最近の経済動向
世界	-世界GDP:10→11年:日3.9→1.6、米2.8→3.0、独3.6→2.2、仏1.5→1.6 英1.3→2 -G7財相円高介入容認 -NY原油7日106ドル -世界半導体売上2月14%増	-G20財相世界経済回復広がり、中東・震災が不確定要因 -NY原油8日一時110ドル台中東 -世界パソコン出荷1-3月3.2%減 -世界半導体売上3月9%増	-10年末:世界人口70億人突破	・中国、インド、NEIS/ASEAN 経済は内需・輸出で成長維持。米、欧は輸出、投資・生産の増加等で緩やかな回復傾向。日本は震災、消費・輸出減で悪化。中東政変、日本の大震災の影響、世界インフレが懸念材料
日本	-景気等:11日東日本大地震勃発、多くの自動車・半導体工場停止、海外部品供給不足、原発事故の影響拡大、内外風評被害 -財政・金融:日銀追加的金融緩和10兆円・大地震・市場安定 -株価:4日1万707円、15日8,400円台 -雇用:2月:失業率4.6%、0.3ポイント改善 -物価:10日ガソリン146円、2月消費者0.3%下落 -所得:2月:勤労世帯収入1%増 -消費:2月:消費支出0.2%減5ヶ月一、小売業販売0.1%増、新車販売12.4%減6ヶ月 -受注:2月:工作機械74%増、産業機械48%増海外84%増 -生産:2月:鉱工業2.9%増、在庫6.9%増、機械3.7%増、在庫23.2%増 -貿易:17日円76円台NY、2月:輸出9%増、輸入9.9%増 -投資:住友電ナリウム蓄電池価格1/10小型化、ファナック・ロボット生産倍増、2月:機械受注民需7.6%増前月比2.3%減 -収益:12-2月:営業益:不二越4倍30億円、3月期:東芝1300億円黒字	-景気等:福島原発事故最悪レベル7 -財政・金融:長期金利一時1.33% -株価:12日9,556円台13日9,608円 -雇用:3月:失業率4.6%、横這い -所得:3月:現金給与0.4%減、11年:賃上げ率1.8%増 -消費:3月:消費支出8.5%減、小売業販売8.5%減、新車販売35.1%減、薄型TV販売10.1%減、 -受注:3月:工作機械49.5%増内需65.7%増 -生産:震災で液晶パネル生産不安、3月:鉱工業12.9%減、前月比15.3%減、自動車57%減、機械18.8%減在庫増 -貿易:6日円85円台、19日82円台、3月:輸出2.2%減16ヶ月ぶりマイナス、輸入11.9%増 -収益:1-3月:純益:上場企業32%減6四半期ぶり一、営業益:ホンダ38%減、キヤノン8%減800億円、3月期:純益:シャープ4.4倍194億円、富士通41%減、リコー30%減、オリンパス85%減、オムロン7.6倍、TDK3.3倍、日本電産1%増523億円、コマツ4.5倍1,507億円、日立建2.8倍、日本精工3.9倍、営業益:ホンダ57%増5,697億円、ファナック3.4倍、 -投資:エルピーダ世界最大容量DRAM量産、東芝・パナソニック家庭用蓄電池投入、3月:民間機械受注前月比2.9%増	-景気等:東電・東北電、企業・家庭15%節電要請 -財政・金融:長期金利7日1.14% -株価:2日1万円台回復、13日9,607円 -所得:3月:勤労者世帯収入4.1%減 -物価:薄型TV価格下落 -消費:4月:新車販売47.3%減、 -受注:4月:工作機械32.3%増 -生産:ルネサス被災マイコン・自動車40%、白物・AV20%、産機25%に被害 -収益:3月期:経常益:上場企業55%増、純益:日立2,388億円、三菱電4倍1,250億円、ダイキン2%増、198億円、HOYA45%増、NEC100億円赤、トヨタ95%増4,081億円、スズキ56%増451億円、クボタ30%増548億円 -投資:パナ処理速度10倍省電力次世代半導体(12年実用化)	(前々月)・GDP10-12月は1.3%減、消費、輸出弱い。企業業績10-12月大幅回復続く。株価は大震災で大幅下落。3月の輸出はマイナス。投資回復傾向。所得は横這い、失業率は高水準もやや回復。消費は自動車販売減少でマイナス。受注、生産は回復もやや減速。震災からの回復、雇用確保が最大課題、大震災の影響、円高が懸念 (前・当月)・GDP1-3月は3.7%減、大震災の影響。企業業績前3月期は大幅増益、1-3月大幅減益。株価は大幅下落で上下。輸出はマイナス。投資回復傾向。所得は低下傾向。失業率は高水準横這い。消費は自動車、TV中心に大幅減少。生産も大幅減少。震災からの回復、雇用確保が最大課題。円高、供給不足による輸出の低迷が懸念
アジア・大洋州	-アジア:14日株価全面安、18日全面高 -中国:2月:新車販売4.6%増23ヶ月ぶり1桁、輸出2.4%増、輸入19.4%増、対中直接投資32.2%増、消費者物価4.9%、10年:純益:上海・深圳企業36.9%増、ハイアール50%増、格力47%増、華為30%増3,017億円、10年末:風力発電能力22.5%増世界一、11年:GDP8%程度、財政支出18%増125兆円 -台湾:2月:輸出27%増ドル16ヶ月二桁、鉱工業生産13%増 -韓国:0.25%利上げ年3%へ、2月:鉱工業生産前月比2.3%減、消費者物価4.5%、10年:営業益:上場企業46%増 -ASEAN5カ国:2月:新車販売22%増、タイ43%増、ネシア25%増、ベトナム56%増 -フィリピン:0.25%利上げ貸出し年6.25%へ、2月:消費者物価4.3%増、10年:GDP7.6% -インドネシア:2月:消費者物価6.8%上昇 -タイ:0.25%利上げ年2.5%へ、2月:自動車生産18%増 -ベトナム:1-2月:消費者物価12% -インド:0.25%利上げ年6.75%へ、1月:鉱工業生産3.7%増、2月:鉱工業生産3.6%増、新車販売18%増30万台、消費者物価8.3%	-アジア:GDP11年7.8%、中国9.6%、韓国4.6%、台湾4.8%、インド8.2%、1-3月:東南自動車販売24%増70万台 -中国:0.25%利上げ貸出し年6.3%へ、預金準備率0.5%引き上げ20.5%へ、外資企業に最低賃金引き上げ、BYD車載電池量産、3月:新車販売5.4%増、消費者物価5.4%2年8ヶ月ぶり、1-3月:GDP9.7%、固定資本25%増、小売販売16.3%増、対中直接投資29.4%増 -台湾:0.125%利上げ年1.75%、3月:鉱工業生産13.8%増、1-3月:純益:エイサー64%減、ホンハイ20%減、UMC30%減 -韓国:サムスン・LG・SKリチウム電池事業拡大、3月:消費者物価4.7%、1-3月:GDP前期比年率5.6%営業益:サムスン30%減、現代自46%増、11年:主要600社投資額9.7%増 -フィリピン:3月:消費者物価4.3%増 -インドネシア:3月:自動車生産25%増、消費者物価6.7%、1-3月:GDP6.5%輸出投資、対内直接投資27%増5200億円 -ベトナム:3月:消費者物価17.5% -タイ:0.25%利上げ2.75%へ、3月:自動車生産14%増、輸出31%増、消費者物価3.1% -インド:3月:人口12.1億人、新車販売28.7%増、第12次5ヵ年計画(12-17)GDP9~9.5%	-中国:預金準備率0.5%引上げ21%へ、4月:輸出30%増、輸入21.8%増、消費者物価5.3%、工業生産13.4%増自動車、薄型TV、新車販売0.3%減2年2ヶ月ぶり一、農村軽自動車補助金終了 -台湾:4月:輸出25%増、輸入26%増 -インドネシア:政策金利据置6.75%、4月:消費者物価6.2%、14年迄:インフラ整備に15兆円、発電所、鉄道 -タイ:4月:消費者物価4% -インド:0.5%利上げ年7.25%へ、4月:新車販売13%増26.8万台	(前々月)・中国は1-3月GDP9.7%と投資を中心に好調維持。一方、インフレ傾向で引き締め。韓国、台湾は輸出・生産・投資、企業業績やや減速も好調維持、GDPも比較的高水準。シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも内需、輸出好調でGDP比較的高水準。インド経済好調持続。持続的成長が課題。中国、インド、インドネシア、ベトナム等でインフレ懸念 (前・今月)・中国は1-3月GDP9.7%と投資・輸出を中心に好調維持。一方、インフレ傾向で引き締め。韓国、台湾は輸出・生産・投資高水準、企業業績は減速傾向。GDPは比較的高水準。シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも内需、輸出好調でGDP比較的高水準。インド経済好調持続。持続的成長が課題。ベトナム、インド、インドネシア、中国等でのインフレが懸念材料

北米	<p>-株価: 2日 1万2,058^{ドル}、11日 1万1,918^{ドル} -雇用: 2月: 失業率 8.9% 0.1ポイント低下、19万人雇用増 -物価: 2月: 消費者前月比 0.5%増、卸売同 1.6%増 -消費: 2月: 個人消費前月比 0.7%増8ヶ月+、小売売上高 8.9%増、新車販売台数 27.3%増、99万台、GM、トヨタ 40%以上増、住宅着工前月比年率 22%減、新築住宅 16%減 -受注: 2月: 耐久財前月比 0.9%減 -生産: 2月: 鉱工業前月比 0.1%減 -収益: 12-2月: 純益: オラクル 78%増 -開発・投資: アップル・タブレット端末 iPod2 発表</p>	<p>-GDP: 1-3月: 前期比年率 1.8%増減速、消費 2.7%、投資 1.8%、輸出 4.9%、政府支出 5.2%減、住宅 4.1%減 -景気: 経済活動は改善を続けている(FRB) -株価: 19日 1万2,463^{ドル}、18日 1万2,138^{ドル} -雇用: 3月: 失業率 8.8% 0.1ポイント低下2年ぶり低水準、非農業 21万人増 -物価: 3月: 消費者 2.7%上昇、卸売 5.8%上昇 -消費: 3月: 消費支出前月比 0.6%増、小売売上高前月比 0.4%増 9ヶ月+、卸売 15.4%増、新車販売 16.9%増、住宅着工 13.4%減、 -受注: 3月: 耐久財前月比 2.5%増 -生産: 3月: 鉱工業前月比 0.8%増 -貿易: 3月: 輸出 4.6%増、輸入 4.9%増 -収益: 1-3月: 最終益: 主要 500社 18%増、純益: アップル 95%増 4,940億円、GE 77%増 2,800億円金融・製造業、IBM 10%増 28.6億^{ドル}、マイクロソフト 31%増 52億^{ドル}、TI 1%増 6.7億ドル、インテル 29%増 31.6億^{ドル}、AMD 98%増 420億円、フォード 22.4%増 2,080億円、GM 2,500億円黒、キャタピラー-5.3倍 1千億円、クライスラー 95億円黒、</p>	<p>-財政・金融: FRB 6月末量的緩和打ち切り、ゼロ金利維持、長期金利 17日 3.11%今年最低 -政治: ビンラディン容疑者殺害 -株価: 3日 1万2,835^{ドル}、18日 1万2,479^{ドル} -雇用: 4月: 失業率 9.0% 24.4万人増 -物価: 4月: 消費者 3.2%上昇 -消費: 4月: 小売売上高 7.6%増、新車販売 17.9%増、住宅着工 10.6%減 -生産: 4月: 鉱工業前月比横這い -収益: 2-4月: デル 2.8倍 770億円、シスコ 18%減 1,460億円 -開発・投資: GM 低燃費車・生産効率化 1,600億円投資</p>	<p>(前々月)・GDPは10-12月 2.8%で6期連続+。大幅な財政赤字。株価はやや上昇。企業業績 10-12月迄 5期二桁増好調持続。輸出は好調。失業率高水準もやや低下、個人消費上向き傾向、車販売回復傾向、住宅販売低調。投資は回復傾向。受注、生産回復傾向。高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題 (前・今月) ・GDPは1-3月 1.8%で7期連続+。大幅な財政赤字。株価はやや上昇。企業業績 1-3月迄 5期二桁増好調持続。輸出は好調。失業率高水準も雇用増。個人消費は上向き傾向、車販売回復傾向、住宅販売低調。投資は回復傾向。受注、生産回復傾向 高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p>
欧州	<p>-GDP: 11年: ユーロ 1.6%増 -財政・金融: ポルトガル財政不安再燃、国債利回上昇、英法人税追加引下げ 24%→23% -株価: 15日欧州株下落・日本大地震で -雇用: 2月: 失業率: ユーロ 9.9% 横這い -物価: 2月: 消費者ユーロ 2.4%、英 4.4% -消費: 2月: 新車販売: 欧州 0.3%増、独 15%増 3ヶ月+、仏 13%増、蘭 31.4%増、英 7.7%減、伊 20.5%減、スペ 27.6%減 -収益: 12月期: 純益: 主要企業 62%増</p>	<p>-GDP: 1-3月: ユーロ前期比年率 3.3%、輸出増、消費、投資、独 5.2%、英前期比年率 2%増 -財政・金融: 欧州中銀 0.25%利上げ政策金利年 1.25%へ、ポルトガル財政赤字 10年末GDP比 8.6%増、金融支援要請最大 9.8兆円 -雇用: ノキア 7千人削減、携帯 OS 外部委託、3月: 失業率: ユーロ 9.9%横這い -物価: 3月: 消費者ユーロ 2.6%、 -消費: 3月: 新車販売: 欧州 5%減、独 11%増、仏 6%増、伊 28%減、スペ 29%減 1-3月: 大手自動車 3社販売台数 1-3月 10~20%増 -収益: 1-3月期: 最終益: シェンクス 86%増 3,400億円産業機械、フィリップス 32%減 160億円、ノキア 1%減 410億円、Qセルズ 47億円赤、VW 3.8倍 1,940億円、タイムラー 59%増 1,270億円、ファイット 130億円黒、営業益: ポルシェ 2倍 600億円、BMW 3.7倍 1,400億円中国 7割増</p>	<p>-財政・金融: 欧州中銀金利据置政策金利年 1.25% -物価: 4月: 消費者: 英 4.5% -消費: 4月: 新車販売: 欧州 4%減、独 3%増 5ヶ月+、仏 10%減、スペイン 20%減</p>	<p>(前々月)・GDP 10-12月 2%増、輸出主導で回復傾向。欧州株価低迷からやや回復へ。企業業績は回復傾向。輸出好調。投資低水準も回復傾向。失業率最悪の水準、車販売はマイナス幅縮小、個人消費は依然低迷。受注、生産は回復傾向。信用不安解消、景気回復、雇用確保が課題 (前・今月)・GDP 1-3月 3.3%増、輸出主導で回復傾向。欧州株価やや回復傾向。企業業績は自動車中心に回復傾向。輸出好調。投資低水準も回復傾向。失業率最悪の水準、車販売はマイナス幅縮小、個人消費は依然低迷。受注、生産は回復傾向。信用不安解消、景気回復、雇用確保が課題</p>
中東ア7	<p>-政治情勢: リビア情勢流動的</p>	<p>-サウジアラビア: GDP 11年 7.5%増</p>		<p>・主要国経済はアラブ政変で停滞気味。太陽光、原子力、電力、石化プロジェクトへの影響懸念。アラブ政変の拡大が懸念材料、イラク・アフガン情勢の安定化、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル: 0.5%利上げ年 11.75%へ</p>	<p>-ブラジル: 0.25%利上げ年 12%へ</p>	<p>-ブラジル: 4月: 消費者物価 6.5%</p>	<p>・ブラジル経済は景気回復、株価上昇もインフレ・利上げで冷却化。メキシコ経済も回復傾向。持続的成長が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア: 2月: 新車販売 80%増 16.5万台</p>	<p>-ロシア: 0.25%利上げ年 8.25%へ、1-3月: GDP 4.1%増</p>		<p>・ロシアは石油価格の回復、新車販売、投資等内需中心に経済回復。持続的回復が課題。北方領土問題が懸念材料。</p>